

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和7年度第3回宮古市市民自治推進委員会を次のとおり開催しました。

令和7年11月4日

宮古市市民自治推進委員会

1 開催日時

令和7年10月9日（木） 午後1時30分～午後3時00分

2 開催場所

宮古市市民交流センター 1階 会議室1・2

3 議題

- ・ 令和8年度実施提案事業の審査について
- ・ 審査結果発表

4 会議の概要

別添のとおり

5 問い合わせ先

企画部 企画課 企画創生係

電話 0193-68-9064

令和7年度第3回宮古市市民自治推進委員会

開催結果

1 日時 令和7年10月9日(木) 13時30分～15時

2 場所 宮古市市民交流センター 1階 会議室1・2

3 出席委員 (11名)

髙茂樹(委員長)、畠山兼(副委員長)、澤田優美、山崎一美、外館織絵、本多政彦、澤田亮、佐可野瑞穂、佐々木聡子、島崎育、中村なつみ

※中村なつみ委員は、テーマ設定型事業(みやっこベース)審査のみ出席

4 欠席委員 (4名)

川口大嗣、川上寿恵、佐々木優、門坂知実

5 事務局出席者 (9名)

(1) 企画部

岩間健(企画部長)、久保田英明(企画課長)、三浦奈穂(企画課主任)

(2) 市民生活部

西村泰弘(市民生活部長)、和美邦彦(市民協働課長)、橋場淳(企画課男女参画・協働推進係長)、中島奈穂子(市民協働課主任)、舩越七海(市民協働課主事)、信夫裕子(市民協働課参画・協働事務員)

6 傍聴者 なし

7 議事等

令和8年度実施提案事業として企画提案書が提出された次の事業について、プレゼンテーションを実施のうえ、審査を行った。いずれの事業も基準を満たしたため、候補事業として採択することとした。

①審査結果

No	事業名	事業実施 主体名	平均 点	結果	18点未 満人数
	【テーマ設定型事業】 テーマ：ふるさと産業人材の確保促進に向けた企業インターン事業				
1	企業の魅力を調査発信する取材型インターン事業	NPO 法人みやっこベース	27.3	候補 採択	0人
	【自由提案型事業】				
2	「鍬ヶ崎に賑わいを!!」港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出事業	鍬ヶ崎元気市の会	25.7	候補 採択	0人

※基準

平均点24点以上…候補事業とする

平均点18点以上24点未満…候補事業としての可否について協議する

平均点18点未満…候補事業としない

②プレゼンテーション登壇者

1. 企業の魅力を調査発信する取材型インターン事業

▽NPO 法人みやっこベース

▽商工労働観光部企業立地推進課

2. 「鍬ヶ崎に賑わいを!!」港町鍬ヶ崎地区の賑わい創出事業

▽鍬ヶ崎元気市の会

▽商工労働観光部商業振興課

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題（１）「令和７年度実施宮古市提案事業の審査について」】 [テーマ設定型事業] テーマ：ふるさと産業人材の確保促進 に向けた企業インターン事業 提案部署：企業立地推進課 雇用労政係 （委員） 今年で３年目の継続事業であるが、担当課としての手ごたえはどうか。 （委員） 最終的な効果は、どのように捉えているか。U・Iターンへの効果は出ているか。 （委員） 宮古市出身者の参加促進について、具体的にどのような取り組みをしているか。 （委員） 学生への周知として、インターンシップサイトへの掲載などがあるが、それ以外にもあるのか。また、企画書内の「想定される課題」として「市外に住む宮古市	（企業立地推進課） 参加の学生からは好評で、参加してよかったとの声を多く聞く。企業側からも、「市外からの採用を深く考えるきっかけづくりになった」などの感想をもらっている。市の産業振興に繋がる事業であると考えている。 （企業立地推進課） 本事業に参加した学生によるU・Iターンの実績は、残念ながらまだない。そうした中で、現在は、岩手県や宮古市出身の学生に多く参加してもらえるようにするなど、改善を図っている。 （みやっこベース） 今年は宮古市出身の学生２名に参加いただいた。どちらも、高校生の時にみやっこベースの活動に参加したことのある方である。高校生など若いうちから、みやっこベースなどまちづくりに関する活動に参加してもらえよう、情報発信に取り組んでいる。また、親を通じたPRに繋がるよう、広報や市ホームページ・SNSなども活用している。岩手大学などでは授業の中や、インターンシップ情報を通じてPRをしてもらっている。すぐに効果が出るものではないが、継続して行っていきたい。 （みやっこベース） 「プロジェクト・インデックス」という、インターンシップ専用サイトがあり、そこにプログラムを掲載することで宮古のことを知らない学生の目にも入る様

質問・意見	回答
出身学生への直接的な発信方法を模索する必要がある」とあるが、具体案はあるか。 (委員) 自分の子どもも、進学で宮古を出て、他県に就職している。非常に重要な課題だと思うので、沢山の対象者に情報が届くような取り組みになることを期待している。 (委員) 受け入れ先の、市内企業8社の選定はどのように行っているのか。 (委員) 訪問先の企業は、毎年変わっているのか。固定化されているのか。 (委員) 成果がすぐには出にくい事業であると思うが、継続できるように頑張ってもらいたいと思う。	にしている。学生は、自分たちで情報収集をしている。インスタグラムなどのSNSで発信している情報をフォローしていただき、連絡をしてきたというケースもあった。県外に住む学生への直接的なアプローチについては、先に述べたように、高校生など若いうちからのPRが重要だと考える。みやっこベースの活動に参加してもらった子どもたちのリストを、個人情報保護などの問題を解決したうえでデータベース化して、宮古の情報交換をするコミュニティを作る、などの方法もできるのではないかと考えている。 (みやっこベース) 市の担当課と相談し、一緒に企業訪問などをして決定している。こちらとしては、定期的な従業員採用をしている企業を希望している。 (企業立地推進課) 大学生の採用をしている・希望している企業、一定数の従業員数がある企業などを基準に決めている。 (みやっこベース) 毎年変わっている。

質問・意見	回答
【議題(1)「令和7年度実施宮古市提案事業の審査について」】 〔自由提案型事業〕 テーマ:「鋤ヶ崎に賑わいを!!」港町 鋤ヶ崎地区の賑わい創出事業 提案部署:商業振興課 商業振興係 (委員) イベント前に、皆さんで草刈りをしている姿をよく見かけている。素晴らしい姿勢だと思っている。これまで計23回の開催で73,500人、1回あたり約3,200人の集客となっているが、最近の状況はいかがか。 (委員) 参加者のカウント方法はどのようにしているのか。また、収支予算書に「一般管理費」として、事業費の10%にあたる金額を計上しているが、具体的な用途は何か。 (委員) 「調整」の費用というのは、人件費も含まれているのか。 (委員) 人件費なら分けて書くべきと考えるが、記載のルールが何かあるのか。事務局の考えは。 (委員) 人件費が不適切ということではなく、この事業規模の予算に、人件費が入っていないことが気になっている。大きい事業	(鋤ヶ崎元気市の会) 今年6月に実施した際は、2,000人程度となった。 (鋤ヶ崎元気市の会) カウント方法は、野外で事由に出入りできる会場なので、駐車場の入り具合や参加店舗の売り上げなどから算定している。用途としては、出店団体や企業、出演者、地域の方との調整にかかる費用、事務作業の費用として10%で算定としている。 (鋤ヶ崎元気市の会) 含まれている。 (商業振興課) 一般管理費は、謝礼金や印刷製本費の予備費として捉えている。 (市民協働課) 予算としては、謝礼金や印刷製本費の予備費としての計上となっている。実績報告の際は、実際の用途で決算書を作成いただき、不適切なものがないか、判断したい。 (鋤ヶ崎元気市の会) ご意見ありがとうございます。内部でも確認し、対応したいと思う。

質問・意見	回答
をボランティアスタッフで運営していくのは限界があると思うので、必要なものは計上すべきである。一般管理費に人件費が入っているのであれば、分けて記載をしたほうが良いと思う。 (委員) 4年目の事業であるが、事業の手ごたえはどうか。	(鍬ヶ崎元気市の会) 鍬ヶ崎の賑わいづくりは、地域にとっても必要なものだと考えている。事業を続けていく中で認知度も高くなり、楽しみにしているという多くの声をいただくようになった。継続もしていきたいと考えている。継続の仕方については、今年度から担当課と協議していきたい。 (商業振興課) 資料にあるとおり、地域の賑わい創出に効果のある事業であり、担当課としても、継続を希望している。国の補助金の活用や、回数や規模運営方法も見直しなど、両方で協議しながら、今後の対応を検討していきたいと考えている。

以上